

## 欧洲都市再生事情調査団

専務理事 蔵敷明秀

当機構の企画による平成17年度欧洲都市再生事情調査団に参加し、10月20日～29日の10日間の日程で、ドイツ、フランスの地方都市を視察してきました。訪問した都市は、ドイツのダルムシュタット、ヴュルツブルグ、ハイデルベルグ、カールスルーエ、バーデンバーデン、フランスのストラスブール、トロワ、ディジョン、パリ、オルレアンです。

訪問した都市について、まちづくりの基本的な方向をざっくりまとめると、コンパクトな市街地形成とそれを実現するための交通施策（公共交通機関、自転車、徒步交通の重視）の実施にあるといえるようです。中心市街地の土地利用については、歴史的伝統的建築物の復元保存活用、商業施設・業務施設・文化施設の再開発・コンバージョンが盛んに行われていました。公共交通機関としては、地方都市圏ですから交通需要量に対応して、地下鉄ではなくLRT（軽量化、高速化された路面電車）が幹線交通を担い、さらに小規模な都市圏では路線バスが見直され交通管理と連動して増強活用されていました。

道路空間は日本の都市と比べれば広いとはいいうものの潤沢ではなく、自転車道設置のため、一方通行の導入等により車線を縮小し、空間を確保している例もありました。中心市街地での歩行者空間の拡大は、通過交通を排除するゾーンシステムの導入や、地表から地下に自動車用道路、公共駐車場を移設すること等により実現していました。オルレアンでは、LRTを使ったパーク＆ライドを普及させるために、自動車同乗者のLRT料金を無料にするという大胆な手法がとられていました。

総じて、ドイツ、フランスでは、大都市よりは地方都市で積極的な政策が展開されている印象を受けました。両国とも都市人口は全体として横ばいの状況であり、人口のゼロサムゲームのなかで首長の政策努力の差異が、地方の小都市ではまちづくりや都市の発展に多大の影響を与えていたようです。

なお、公式訪問したダルムシュタットとトロワについては最終頁に報告しています。後日、調査団参加者の分担執筆による調査報告書を作成する予定ですので、情報が必要な方は事務局にお問い合わせください。

### 区画整理年報販売のご案内

平成17年度版 区画整理年報の販売を11月15日から実施しています。お申込みは既に受け付けておりますので、ぜひこの機会に購入を検討していただきますよう、ご案内いたします。

#### 【CD-ROM収録内容】

##### データをエクセルファイルに収録

1970年度以降に認可公告した事業の必要なデータを検索することができます。  
類似する地区等、パソコンでの検索・集計作業が可能です。

##### 過去5ヵ年分のデータを集計した、表、グラフをワードファイルに収録

全国の区画整理事業の状況を把握することができます。

#### 【図書収録内容】

図書には、CD-ROM収録の図や1970年度以降に認可公告した全事業のデータ（事業面積や施行期間など）が掲載しております。

監修 国土交通省 都市・地域整備局市街地整備課  
発行 財団法人 区画整理促進機構

## エクセルファイル収録内容

### 1. 地区の所在等

- ・都道府県
- ・市町村名
- ・施行地区名
- ・DID

### 2. 事業の内容等

- ・事業種別
- ・施行者名
- ・施行者種別
- ・都市計画決定年度
- ・事業開始年度(認可公告年度)
- ・仮換地指定日
- ・事業終了年度
- ・事業面積
- ・合併施行の有無
- ・事業の特質
- ・公共減歩率
- ・保留地減歩率
- ・合算減歩率
- ・過小宅地借地対策
- ・共有換地制度の活用
- ・創設換地制度の活用
- ・住宅先行建設区の活用

### 3. 地区内人口、市街化現況等

- ・施行前地区内人口
- ・地区内計画人口
- ・土地所有権者数
- ・借地権者数
- ・施行前市街化率
- ・現況建物戸数
- ・要移転戸数

### 4. 土地利用現況及び計画等

- ・施行前公共用地面積
- ・施行前宅地面積
- ・施行前合計面積
- ・施行後公共用地面積
- ・施行後宅地面積
- ・保留地面積
- ・施行後合計面積
- ・住宅先行建設区の面積

### 5. 財源内訳

- ・国庫補助
- ・都道府県単独費
- ・市町村単独費
- ・公共施設管理者負担金
- ・その他事業費
- ・総事業費

### 6. 支出内訳

- ・公共施設整備費
- ・移転補償費
- ・減価補償金
- ・その他工事費
- ・その他事業費
- ・総事業費

1970年度以降に認可公告した事業の必要なデータを検索することができます。

## ワードファイル収録内容

<b>1. 概要</b>	
1-1 本年報の作成	
1-2 本年報の内容及び対象	
1-3 調査項目	
<b>2. 土地区画整理事業の施行状況</b>	
2-1 土地区画整理事業施行状況	
2-2 地域別施行状況	
2-3 事業種別施行状況	
2-4 都市人口規模別施行状況	
2-5 都市化の度合いと施行状況	
2-6 区域区分別施行状況	
2-7 人口集中地区(DID)内外別施行状況	
<b>3. 事業内容と経年変化</b>	
3-1 地区面積	
3-2 事業期間	
3-3 公共用地の整備	
3-4 土地利用の再編	
3-5 減歩率	
3-6 事業費と財源	
3-7 地価の増進	
3-8 特定土地区画整理事業	
3-9 過小宅地・借地対策	
3-10 合併施行	
3-11 事業の特質	
3-12 業務代行方式	
3-13 共有換地制度の活用	
3-14 創設換地制度の活用	
3-15 建物移転率	
<b>4. 人口集中地区(DID)内外における土地区画整理事業</b>	
4-1 人口集中地区(DID)内外の地区数・面積の構成	
4-2 事業期間	
4-3 公共施設の整備	
4-4 土地利用の再編	
4-5 減歩率	
4-6 事業費	
4-7 地価の増進	
4-8 建物移転率	
4-9 中心商業地の土地利用の再編	
4-10 既成工業地の土地利用の再編	

### 【販売形式】

平成17年度版 区画整理年報は図書とCD-ROMのセット販売になります。

価格は￥5,800円(税込・送料無料)です。

下記のホームページより図書購入申込書を印刷してFAXにてお申し込み下さい。

[http://www.sokusin.or.jp/book/b\\_index.html](http://www.sokusin.or.jp/book/b_index.html)

**【問合せ先】 (財)区画整理促進機構 総務部 TEL 03-3230-4513  
FAX 03-3230-4514**

### 足利市文化創造の都市づくりワークショップ(栃木県足利市)の開催報告

当機構が主催する「第1回 合同ワークショップ」が、平成17年10月31日(月)に、栃木県足利市内にて開催されました。

本ワークショップは、現在、単一で構成されている資源・施設をネットワークで結び、「知」の遺産である足利学校を活かしたまちづくりによりまちなか再生を図ることを目的としたもので、地元行政・商工会議所・鉄道事業者・地元関連団体NPO・足利工業大学等、産官学で構成され、それぞれの立場から活発な意見が発言され、多いに熱のこもったワークショップとなりました。



## 平成17年度 欧州都市再生事情調査の実施報告

10月20日～10月29日(10日間)の日程で、平成17年度欧洲都市再生事情調査を実施しました。本年度は当機構の藏敷専務理事を団長とし、総勢15名の視察団で、公式訪問先の2ヶ所を含め、ドイツ、フランスの2ヶ国にて、都市中心部における都市再生に取り組んでいる状況についての調査を実施しました。

第1の公式訪問先、「ダルムシュタット市都市計画局」(ドイツ)は、中心市街地にあるルイーゼン広場に面した市有地にショッピングセンターを誘致し、近隣の再開発とともに幹線道路を地下化、大規模な地下駐車場を建設することで中心市街地から一般車両を締め出す施策を実施しています。これらの相乗効果により多くの来訪者でぎわっている状況の説明を受けるとともに活発な意見交換を行いました。

第2の公式訪問先、「トロワ地域開発局」(フランス)では、近隣市からの交通流入による環境悪化の改善のため、マイカーから公共交通機関への積極的な利用を促し、交通情報システムの充実とバリアフリー化を促進することによる公共バスのサービス向上と自転車専用道の整備等によって都市交通システムの改善を実施しています。また、駅前広場の再整備やOPAH(住宅改良計画事業)を活用した街なみの整備も行っており、これらの施策により生まれ変わった街の様子について説明を受け、活発な質疑応答を行いました。

全行程中は10月の欧洲としては穏やかな天候に恵まれただけでなく、各訪問先での暖かい対応も受けることができました。10日間という長いようで短い視察期間でしたが、各団員間の友好を深めることもできました。

参加者の方々からは「パックツアーではほとんど訪れる事のない様々な都市を視察し、都市再生について有意義な調査ができた。」との声が数多く聞かれ、大変充実した調査となりました。



ヴュルツブルク(ドイツ)旧マイン橋にて

### 問合せ先

(財)区画整理促進機構  
TEL 03-3230-4513

[←戻る](#)

Copyright (C) OPKP. All Rights Reserved